

「未来を創る教育のあり方」

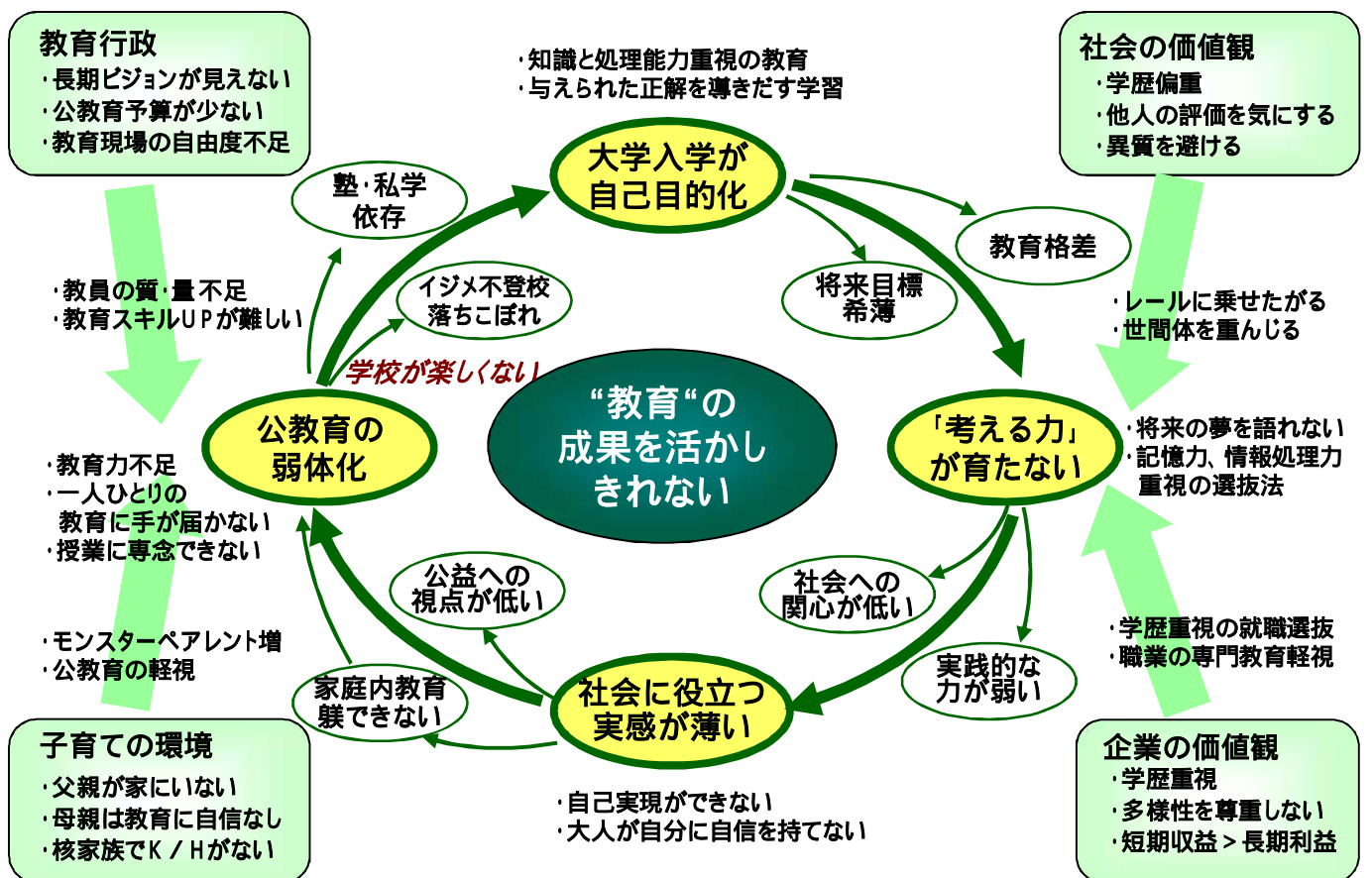
“2030ビジョン”プロジェクトでは、「日本の将来像」を皆で考えるという活動をしております。未来を切り拓くためには、言うまでもなく「教育」が重要です。現在の日本の教育に関しては、「自ら考える力が不足している」、「コミュニケーション力が弱い」、「ストレスへ耐性が低い」などの教育の成果としての問題があります。また、いじめや不登校、落ちこぼれ、教育格差、教師の過大な負担など、仕組みとしての問題もいろいろあります。

これらの問題を解決していくためには、教育分野だけでなく社会全体の意識や構造を変えていくことも必要だと思えます。それにはやはり“将来の国のありよう”を共有して、我々全体の価値観を変えていくことが求められます。

課題はたくさんありますが、それらを整理すると下のような構図として捉えることができます。この構図から考えると、大学入学が自己目的化したことで、受験勉強の価値観が学習そのものを歪めていると言えます。総合学習の導入や一部で行われている先進的教育の実施等により効果を上げている部分もありますが、近年は学力重視の揺れ戻りで、社会で本来役立つ能力とは異なる教育に再び向かおうとしているように感じる面もあります。また公教育が弱体化したことにより、落ちこぼれや不登校が増加し、塾依存が強まり学校の信頼感が薄れていることも本末顛倒と言えます。また親の経済力が子の教育に影響し、教育格差の連鎖を生む要因でもあります。“2030ビジョン”プロジェクトは、このような構図を根本から見つめ直すことが必要ではないかと考えています。

2010年1月6日  
“2030ビジョン”プロジェクト

教育をめぐる問題の構図



教育の問題は「教育分野」のみならず、社会全体の構造が反映されている

“2030ビジョン”プロジェクトでは、“学ぶこと自体が楽しく”、“社会や人への関心を高め”、“未来に夢や希望を抱くことができる”教育を目指したいと考えています。

そして20年後の2030年が、新しい価値観で自律的に行動するイノベーターで溢れている活気ある日本になって欲しいと考えます。

目指す教育の姿

<p>育 成 像</p>	<p>「生きる力」=「自ら考える力」</p> <p>世の中について考える力</p> <p>コミュニケーションする力</p> <p>データや情報を分析する力</p> <p>問題を発見し解決できる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が望む社会を思い描く力</li> <li>・多様な価値観を認め、尊重する力</li> <li>・人の気持ちや考えを理解する力</li> <li>・他者と協力してものごとを進める力</li> <li>・問題を自分で感じ、考える力</li> <li>・必要な情報を収集し判断できる力</li> <li>・問題の本質を見抜く力</li> <li>・自ら実践する力</li> </ul>
<p>プ ロ セ ス</p>	<p>学ことが楽しい</p> <p>教育機会が公平に提供される</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼い時から学ぶことに喜びがある</li> <li>・学ぶことで自分に自信が持てる</li> <li>・親の収入によって差がつかない</li> <li>・公教育で学びが保障される</li> </ul>

実現のための取組みの方向性

<p>教育の仕組み</p>	<p>受験をゴールとした教育体系の変革</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記憶、処理能力中心の学習を減らし調べて考える学習を基軸に据える</li> <li>・世の中について考える学習を重視する</li> <li>・協働で学ぶ場を大切にする</li> </ul>
	<p>多様性を重視する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの特性、進度に合わせた教育</li> <li>・地域が連携し様々な体験の機会を提供する</li> </ul>
	<p>公教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公教育の教員の質と量を高める</li> <li>・社会人経験重視、塾教師を取り込む</li> <li>・地域の大人も教育に参加する</li> <li>・就学前～小/中学校～高校無償化(教育費、給食費、諸費用が無料)</li> </ul>
	<p>就学前教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育と小学校教育の一体化</li> <li>・就学前教育100%実施</li> </ul>
<p>社会の価値観</p>	<p>教育が国の基本という合意の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育予算への資源配分を大幅に増やす</li> <li>・家庭と地域コミュニティが教育に参加する</li> <li>・労働時間を減らし“親子“の時間を増やす</li> </ul>
	<p>学歴至上の考え方を変える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な能力を尊重する</li> <li>・学歴と仕事/給与とのデカップリング</li> </ul>

	0	3	6	12	15	18	22
	保育園 / 幼稚園	小学校		中学校	高校	高等教育	社会人
目標	モラルを体得する	“学ぶ喜び”を知る		調べて考える楽しさを知る	人間や世の中について考える		社会の未来を考える 自己実現を考える
教育の取組み	「学び方」を身に付ける		「学習の基礎」を学ぶ		問題」を発見し解決する		「将来」を考える 社会に役立つ
	就学前 ~		小学校 ~		中学校 ~ 高校 公立無償		手厚い奨学制度 社会人教育制度
	家庭内教育重視	幼児教育の質・量アップ	公立校教員の質・量アップ (社会人・塾教師の活用、教員サポート)		・将来視点を高める ・職業教育の強化		・生涯学習の場 (自発・公共)
	親の子育てをサポート	就学前教育100%化	公教育を充実		キャリア教育の充実		学ぶ意欲に応える 多様な教育の機会
	大人の触合い	個の特性に応じた進度 理解不足を作らない 子どもの長所を伸ばす	働くことの意味 多様な価値観 得意技の気づき		大学(大学院) 短大 専門大学 専門学校等		企業内教育 職業訓練 社会教育  コミュニティ活動 就職 / 納税
	・祭り ・地域活動	遊びの場も大切にする ・学童保育の拡大	職業体験の場の提供 ・コミュニティの活用				
社会	教育が国の基本という合意形成 子育てしやすい社会をつくる ワークライフバランスが良い				大人が生涯、向上心を持ち続ける 大人が範を示す(ロールモデルとなる) 社会が子どもたちを育て教える(ナナメの関係を活かす)		

地域コミュニティが学校を支える

学校が地域コミュニティの核となる

= 通学区のユニットが地域コミュニティを形成する



「教育」とは「共育」・・・「教え育てる」から「共に育む」へ